

2018年8月7日
愛知製鋼株式会社

当社本館が「日経ニューオフィス賞」を受賞

愛知製鋼株式会社(本社:愛知県東海市、代表取締役社長:藤岡高広)は、株式会社日本経済新聞社および一般社団法人ニューオフィス推進協会などが主催する「第31回日経ニューオフィス賞」において、当社本館が「ニューオフィス推進賞」および「中部経済産業局長賞」を受賞しました。

日経ニューオフィス賞は1988年より開始され、ニューオフィスづくりの普及・促進を図ることを目的として、創意と工夫を凝らしたオフィスを表彰するものです。

具体的には、快適かつ機能的なオフィスを整備し、感性を刺激し創造性を高めることに貢献しているかに加え、知識資産や情報の運用管理の実現のためにオフィスが構築され、企業経営の重要な資源としての役割を果たしているかといった点からも審査がなされます。

2018年度は、応募総数135件の中から、当社を含めた16件の「ニューオフィス推進賞(全国賞)」が選定されました。また当社は、中部地方ブロックの応募企業の中でも最も優れた事例として「中部ニューオフィス推進賞・中部経済産業局長賞」を合わせて受賞しました。ニューオフィス推進賞の表彰式は8月30日に東京で、中部ニューオフィス推進賞・中部経済産業局長賞の表彰式は9月に名古屋で実施される予定です。

今回の受賞は、本館の建て替えにあたり、コンセプトを「鉄の力・人の力を魅せる、製造機能隣接型オフィス」とし、働き方改革、事業継続体制強化、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の実現を目指して、コミュニケーションや働き方に变化を促すための様々な工夫や、ビジターセンター併設による当社の歴史や事業活動への理解促進、免震構造の採用や災害時のBCM機能の強化、環境面では単位面積当たりエネルギー消費量の旧本館比半減など、先進技術を取り入れるとともに、開かれたオフィスを実現したことが評価されました。

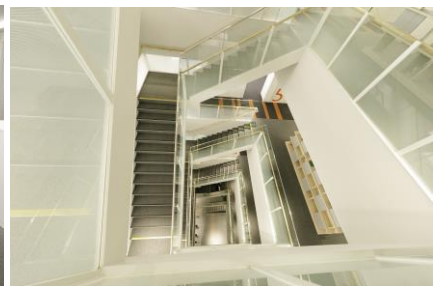
当社は今後も、オープンなオフィス環境を活かした働き方改革を積極的に進めることでさらなる生産性向上と社員の働きがい追求するとともに、ステークホルダーの皆様から「いつまでもこの地にあり続けてほしい」と思っただけのモノづくり企業として年輪的に成長し、社会に貢献していきます。



本館全体の外観
(左側がメイン棟)



執務エリアの様子
(打ち合わせスペース)



各執務フロアをつなぐ
コミュニケーション階段